

北海道立学校ふるさと応援事業実施校一覧

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
石狩	<a href="#">札幌東高等学校</a>	「太陽は東から」プロジェクト(The sun rises in the east.)	カナダ(ブリティッシュコロンビア州)における10日間の海外研修プログラムの実施(高校訪問による交流活動、大学での体験学習、ホームステイ等)	参加者はもちろん他の生徒に対しても「生涯にわたり学び続ける力」や「チャレンジする強い精神」を育む機会となり、ひいては国際社会で活躍できる人材の育成に大きく資する。
石狩	<a href="#">札幌南高等学校</a>	部活動全国大会出場サポート	運動部のトレーニング機器、文化部の必要物品整備、全国大会の参加生徒への補助	延べ千名以上の生徒が積極的な部活動を行っているが、生徒の能力や可能性を引き出し、日々の努力を発揮する機会を充実させたい。
		学校林ふれあい事業	学校林における環境教育	「造林育人」の教えもの、歴代卒業生から引き継がれてきた学校林における森林との触れ合いから、環境を学ぶとともに、学校林活動の意義を理解し母校愛を育む機会としたい
		南高生人づくり応援事業	日常の悩みや不安を解消する相談活動及び定時制生徒の社会体験活動充実	全校生徒が充実した高校生活を送れるよう、一層の極め細かい予防措置的なカウンセリング体制や、定時制生徒のボランティア活動を充実させたい。
石狩	<a href="#">札幌北高等学校</a>	アクティブラーニング環境の充実	アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業の工夫・改善を目指したICT機器の整備	社会に出てからも活躍し、21世紀を担うグローバルな人材を育てるために特別活動をはじめとする学校での取組を推進する学習環境や、新たな学びのための情報環境の整備が必要不可欠である。
		個別面談スペースの設置(定時制)	個別の教育支援が必要な生徒等が安心して面談できる個別面談スペースの設置(定時制専用教室の有効活用)	定時制課程には、個別の教育支援が必要な生徒が在籍しており、これらの生徒が学校生活に適応し、安心して学校生活を送るため、きめ細かな指導を充実させる必要がある。
		国際理解教育の充実	国際理解教育の充実を図るため、生徒の海外研修への支援	社会に出てからも活躍し、21世紀を担うグローバルな人材を育てるため、国際理解教育の充実に向けた生徒への支援が必要不可欠であるため。
石狩	<a href="#">札幌東陵高等学校</a>	東陵VISITOR(ビジター)プロジェクト	学校の持つ人的・物的な教育資源を積極的に活用した学校開放講座の拡充を図り、地域の人たちへの学びの機会を提供	本校の学校開放講座は10年以上の実績を持ち、近年では保護者や地域住民を講師とする講座も開かれている。より一層、地域住民や生徒の生涯学習を支援する観点から現在の取組の一層の充実発展が求められるため。
石狩	<a href="#">札幌稲雲高等学校</a>	「探求学習活動」等の充実のための環境整備	アクティブラーニングや探究的学習活動等の新たな学びを支援するためICT環境の充実	生徒所有のスマホや学校所有の端末により授業を進めているが、スマートフォンを持たない生徒や、自分の端末使用を望まない生徒への対応に苦慮、学校としても必要数を準備したい。
石狩	<a href="#">札幌国際情報高等学校</a>	グローバル人材育成に係るアクティブラーニング環境の充実	アクティブラーニングの観点から探究学習等の新たな学びを支援するICT環境の整備	新たな学びを推進する上で、プロジェクターを活用した授業や、インターネットを活用した調べ学習、外部との情報交換、海外との相互通信を欠かすことができないが、現状では、全クラスにおいて、全生徒が一斉に実施する環境が整備されていないため。
石狩	<a href="#">野幌高等学校</a>	アクティブラーニング環境の充実	生徒の興味関心を引き出し、協働する姿勢や深い学びを体験するためICT環境を整備	現在使用しているタブレットは、北海道立教育研究所からの貸与を受けている。授業では生徒4人に1台であり、自分の授業で使用したい生徒も毎回順番待ちの状態であるため。

公表内容				
管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
石狩	大麻高等学校	「地元の教育力を大麻高校の力に！」プロジェクト	本校の教育力を高めるため、市内4大学と連携を深め、近隣にある博物館や運動公園等、地域の教育環境や人的資源を教育活動の充実に活用する。 また、小中学校との連携を深め、ICTを活用した授業づくりをより充実させるためICT環境を充実する。	大学が4つある等の文教地域としての特性を生かすため、市内大学との連携を図り、大学の教育力を活用することで、生徒にこれからの社会を生き抜いていく上で必要となる課題発見力や課題解決力を身につけさせる。加えて、地元の自然や教育施設、人的資源を活用し、生徒たちの郷土愛を深め、主体的に社会に関わる意欲や態度を育む必要がある。 また、先進的な取組を実践している小中学校との連携を深めるためにも、ICT環境を充実する必要がある。
		「江別の地から一人でも多くの生徒を全国大会に！」プロジェクト	全国大会を目指す運動部や文化部の活動の充実のため物品整備等を行い、部活動をより活性化させる。 また、全国大会へ参加する生徒の保護者等の負担を軽減する。	現在のトレーニング機器では運動部においてトレーニングが効率的に行われておらず、体力強化に限度があるため、機器を購入する必要がある。 また、活発な文化部活動には莫大な費用がかかっている現状があり、加えて、運動部・文化部共に全国大会の遠征では保護者の負担が過大となっているため、その負担を軽減する必要がある。
石狩	北広島西高等学校	アクティブ・ラーニング環境の充実	教育の質の向上を目指し、生徒の学力向上及び進路目標実現の一助とするため、ICT機器を整備する。	本校のICT機器の状況では、e-ラーニングや生徒の調べ学習に限度があるため、この課題を解決し、更なる生徒の学びを支援するため、ICT機器の整備を行う必要がある。